

令和 2 年 月 日

阿賀野市長 田中 清善 様

阿賀野市総合計画審議会
会長 武田 真

阿賀野市総合計画について（答申）

令和元年 9 月 25 日付け阿財第 185 号をもって本審議会に諮問があった事項について、下記のとおり答申します。

記

1 阿賀野市総合計画の進捗状況について

【答申内容】

阿賀野市総合計画（以下「総合計画」という。）の進捗状況については、順調と認められる取組もあるものの、「農業の振興」施策などで目標達成が難しい状況にある成果指標も見受けられます。

総合計画の基本計画は来年度が計画終了年度となっておりますので、経営資源の選択と集中をより一層図られ、目指すまちづくりの実現に向けて引き続き取り組みを進めていただきたい。

2 交付金事業の効果検証について

【答申内容】

(1) 地方創生拠点整備交付金事業について

ハクチョウの湖「瓢湖」周辺魅力向上計画事業は、平成 30 年度における KPI は目標値を下回っており、観光客入込数は前年度比で増加したものの、瓢湖において未だ鳥インフルエンザの影響等が残っているものと考えられます。また、「憩の家」の利用者数は、開館準備作業のために 4 月を休館としたため、11 か月の開館となったことが目標値を大幅に下回った要因と考えます。

周辺施設の情報や関連するイベントなどと連携しながら、改修工事に

より向上した施設の魅力について、積極的な情報発信に努め、観光客の増加を図っていただきたい。

(2) 地方創生推進交付金事業について

ア ICTを活用した「稼げる」まちづくり・ひとづくり事業について
大型農業用ハウスを設置して通年でトマトを栽培していますが、平成30年度におけるKPIは、ICT教育受講人数以外の数値は目標を下回っている状況であり、事業の目的を明確にしたうえで、栽培技術の更なる向上や消費者ニーズを把握し、ICTを活用した園芸振興のモデル事業として確立していただきたい。

イ 食・農業イノベーション拠点整備事業について

事業期間が終了し求められる自立化には、民間企業間の取組みに発展させる必要があります。併せて、市の食品乾燥施設を民間企業（起業者、就農者）に貸し付けることで、市内のビジネス環境の向上を図っていただきたい。

(3) 地域再生計画事業について

阿賀野交流ゲートウェイ整備プロジェクトについては、順調であると認めます。

3 阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間延長及び改訂について

【答申内容】

※2月25日（火）開催の第2回総合計画審議会での審議内容に基づき作成する。

4 阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

【答申内容】

※2月25日（火）開催の第2回総合計画審議会での審議内容に基づき作成する。

以上